

## ■絵本

「 なっちゃんのなつ 」

- ・文:伊藤 比呂美
- ・絵:片山 健
- ・出版社:福音館書店

なっちゃんは、ある夏の日、川原へ一人で出かけました。

大好きな、たくさんのくずのつるや、ひまわりの道を歩いたり、川原にいる魚をくわえた鳥を眺めたりと楽しく歩いていました。

途中、草が生い茂っている道で蚊にさされたり、おまけに夕立におそわれてしまったり…。うちに帰ったら、おばあちゃんにお墓参りを誘われて…。

なかなか外出ができない今だからこそ、絵本でなっちゃんの夏の一日に、ほっこりしながら、日本の夏を味わってみませんか？

(対象 幼児から)

## ■児童書

「 これがきっかけ！ノーベル賞ずかん 」

- ・監修:高柳 雄一
- ・出版社:ほるぷ出版

ノーベル賞受賞者たちの功績と受賞。そのきっかけとなったエピソードを写真とわかりやすい文章で紹介しています！

きっかけはどこにでもあります。たくさんの本を読んだ時や卵からかえったヒナと目が合った時、漫画に出てくる博士にあこがれたり、嵐の中、停電を復旧させている父の姿を見てなど、ノーベル受賞者たちは、様々なきっかけやできごとにも力に変えて研究しすばらしい成果を生んできました。

学校からの帰り道や、友だちとの会話、本を読んだ時など私たちの身の回りの出来事もノーベル賞へとつながるきっかけになるかもしれませんね！

(対象 小学校中学年から)

## ■一般書

「 戦地の図書館 ―海を越えた一億四千万冊― 」

- ・著者:モリー・グプティル・マニング
- ・訳者:松尾 恭子
- ・出版社:東京創元社

1933 年 5 月、ベルリンをはじめとするドイツ全土の都市で、多くの書籍が燃やされました。いわゆるナチス・ドイツの焚書、「書物大虐殺」(ビブリオコースト)。ナチスは自分たちの有益にはならない書籍、作家などを排除したのです。

これとは対照的にアメリカでは「先勝図書運動」が行われました。アメリカの図書館員たちは、全国から寄付された書籍を兵士に送り、兵士用に作られた新しいペーパーバック「兵隊文庫」を発行して、世界中の戦地に送り届けました。読書することによって兵士たちは戦争という過酷な時間を忘れられ、戦争が終わってからも人生の糧になっていったのです。

(対象 一般)